

事務事業評価における総括

部 局 名	財務部	記入責任者	青柳 道文
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>財務部の政策的事業は、7事業のうちS評価5件、A評価1件、C評価1件としていることから、おおむね順調に進捗しています。財務部という部局の性質上、政策的事業の数は必ずしも多くはないものの、今後におきましても、部局内の大半を占める定例的な事業を迅速かつ的確に進めるとともに、政策的事業についてもしっかりと取り組みを進めてまいります。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>「寄附の採納事務」については、本市に対するふるさと納税を促進するために、魅力ある返礼品ラインナップ構築に取り組むとともに、新たなポータルサイト導入に向けた検討を進めることで寄附金の確保につなげたためS評価としました。</p> <p>「納税推進センター事業」については、委託事業者を活用した初期滞納者への電話での呼びかけにより現年度滞納の早期解消が図られ、それに伴い現年度の市税徴収率が向上したためS評価としました。</p> <p>「クレジットカード収納の導入」については、市の財政状況、費用対効果及び徴収率向上を総合的に考え、本事業の導入を検討したためS評価としました。</p> <p>「全庁的な徴収率向上への取組」については、4月に債権管理各課徴収担当との合同初任者研修を実施し、庁内連携が一層強化されたものの、回数が目標に満たなかったためA評価としました。</p> <p>「その他市税還付金及び還付加算金の事務」については、目標値である0件には及ばなかったためC評価としましたが、一定の成果はあったものと考えています。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>財務部の業務計画に位置づけた事業については順調に進捗しており、今後も継続して業務を進めてまいります。</p> <p>財務部の使命として、安定的な財政運営を維持するため、市税の適正な賦課及び徴収率の維持向上に努めるとともに、自主財源確保に対する取り組みとして、ふるさと納税制度の活性化をはじめとした、さまざまな対策を積極的に検討してまいります。</p> <p>また、昨年度末に策定した財政健全化緊急対策の趣旨を十分に踏まえた、また、新型コロナウイルス感染症対策を着実に実施していく中で、財務部が担うべき取り組み事項についてしっかりと取り組みを進めてまいります。</p>			